

「学生の意識調査」実施概要 弘前大学

目的 あおもり人材育成・県内定着促進協議会が設立され、産学官による連携のもとで、学生の県内定着の促進に向けた各種取組が進められる中で、学生の考えを反映させ、より効果的な取組を検討する上での基礎資料とするため、「学生の意識調査」を実施する。

対象

- ・ 弘前大学は医学部医学科を除く学部生全学年対象。
- ・ 「青森創生人材育成・定着推進協議会」を構成していた16高等教育機関(大学及び短期大学(部))の在籍学生、約1.5万人が対象となる。
- ・ 八戸工業高等専門学校の対象学年は4、5年次(大学1、2年次に相当)とする。

実施時期

- ・ 6～8月
- ・ 令和6年度を初年度とし、経年変化をみるため、4年程度継続実施予定。なお、弘前大学以外の実施期間は未定。

方法

- ・ Microsoft Formsによる集計。
- ・ チラシを配布し、QRコードでアクセス、WEBによる回答。

データ集計・分析

- ・ アンケート作成教員による分析。
- ・ 最終報告書の作成は、アンケート締切から2～3か月後を想定。

調査の活用 アンケート結果は、産学官にフィードバックし、それぞれの取組において活用される。

アンケート(設問)

- ・ 産業界、自治体からの意見も加え、弘前大学において作成(人文社会科学部 李教授)
- ・ 経年変化を見るための学籍番号の回答については、各大学の意向を確認し、この趣旨に賛同する場合に回答してもらう任意回答とする。
- ・ 選択式を基本に、最終的に「なぜ県内に残る(残りたい)のか、残らない(残りたくない)のか」につながり、産学官の取組の参考になる内容とした。